

広報
第84号
2025

ふくし 福祉の里 さと

〒022-0006 岩手県大船渡市立根町字田ノ上30-20
電話 0192-27-0294 / FAX 0192-27-4386

里外キャップ・ハンディ体験

釜石市立唐丹小学校3、4学年を対象に、車いす体験を実施しました。

はじめに車いすの基本的な操作方法に加え、介助時の声かけや押すスピード、段差での補助の仕方など、実際の場面を想定した介助方法について説明を行いました。続いて2人1組でコースを回り、「どのようにしたら相手が安心できるか」「どんな声かけが適切か」を考え、相手の立場になって取り組む姿が見られました。

最後に、車いすを利用する方が直面しやすい困難な場所や状況を描いたイラストを使い、困っている人を見かけたら手を差し伸べる大切さを伝えました。



社会福祉従事者等専門研修会

社会福祉施設等に従事する方々を対象に、『楽しめる展開方法で認知症の予防効果を探る』をテーマに、レクリエーション研修を開催しました。

講師には、岩手県レクリエーション協会より吉田道行先生を迎え、座学と演習を通してレク支援における効果的な手法を実践的に学びました。

集団でゲームを行う際に重要となる4つの展開ポイントを教わり、提供する素材の魅力や、言葉だけでなく視覚的に示す工夫、全員が参加できる仕掛け、場を盛り上げる演出の必要性について理解を深めました。参加者は、レクリエーションが単なる余暇活動ではなく、利用者の意欲を高め、自立へつながる支援であることを再認識する機会となりました。

参加者からの感想

- ・レクの時間を生活と切り離して考えていた部分があり、考え方を変えなければと思った。
- ・4つのコツを踏まえ展開することで目的に沿ったレクとなり、意義のあるもの、盛り上がるものになると学んだ。
- ・ボッチャでは、少しずつ的を狭くする展開方法がとても面白かった。
- ・職場ですぐに実践できる内容でとてもよかった。講師の先生のお話がわかりやすかった。

移動ニュースポーツ教室

大船渡市立越喜来小学校3学年の親子レクリエーションで、キンボールを楽しみました。

キンボールは直径約1メートルの大きなボールを使い、チームで協力してボールを落とさないようにプレーするスポーツ。子供たちはもちろん、保護者も初めての体験に大盛り上がりでした。

ゲームでは、親子混合のチームを組んで試合形式に挑戦。作戦を立てながら声を掛け合い、全員が積極的に参加する姿が見られました。



大きなボールに振り回されながらも、笑顔と歓声が絶えず、体育館には和やかな雰囲気広がりました。



福祉体験学習

大船渡市立猪川小学校2学年を対象に、当センターの施設見学及びボッチャ体験を行いました。

事前に寄せられた多くの質問に対し所長が説明を行い、生徒たちはその内容を熱心にノートに書き留めていました。施設見学では、スロープや点字ブロックなど、誰もが使いやすい設計の福祉設備を紹介し、実際に見て触れながら理解を深めました。



ボッチャ体験では初めての競技でもすぐにルールを覚え、楽しさを実感している様子が伺えました。

岩手ふれあいボッチャ大会

障がい者と健常者の交流を目的とした本大会は、今年で23回目を迎えました。久慈、盛岡、遠野、一関、岩手町など、県内より12チーム41名が参加しました。

熱中症対策に留意しながら行い、試合では和やかな雰囲気の中にも真剣なプレーが見られ、参加者同士の交流が深まりました。決勝戦では、前回



大会の覇者「ビッグアローズ」が接戦を制し、見事2連覇を達成。安定したプレーとチームワークの良さが光りました。

歌をたのしむ会～四季の歌を添えて～

今年度も月2回、当センターで開催しています。「うみ」「蛍」「夏の思い出」「青葉城恋唄」「星影のワルツ」など、季節に合わせた童謡や昭和の名曲を歌い、懐かしさと楽しさに包まれた時間が流れています。

これまで長年ピアノ伴奏で支えてくださった方の退職に伴い、CD音源や動画を使用した形式に変更。画面に映る歌詞に合わせて声が揃い、会場は穏やかな歌声と笑顔に包まれています。

今年度は新たな参加者も加わり、更に賑やかな会に。今後も地域のつながりと心の健康を育む場として続けてまいります。



気仙シニア大学

令和7年度開講式を行い、新たに6名の新入生を迎えました。講師には、気仙歴史文化研究会会長の甘竹勝郎先生を迎え、江戸時代後半から明治時代にかけての気仙地域の歴史をテーマに、2回にわたり講義を行いました。

ユーモアたっぷりの語り口で歴史的背景を分かりやすく解説し、受講生は興味深く耳を傾けていました。厳しい暑さの中でも多くの受講生が足を運び、甘竹先生の知識と熱意、そして歴史への関心が伺える講義となりました。



岩手県ボッチャ大会

第29回水野石油杯が開催され、市内より15チームが出場しました。連日続いていた猛暑もこの日は和らぎ、プレーしやすい気温の中での大会となりました。試合は互いに声をかけ合いながら進み、ほどよい緊張感と活気のある雰囲気の中で進行。手に汗握る展開や好プレーも多く見られ、見応えのある内容となりました。

最終的に「チームすこやか」が優勝を飾り、全体を通してボッチャの魅力を改めて感じられる大会となりました。



当センターは、2月に市内で発生した林野火災に伴い避難所を開設しました。5月下旬に避難所が閉鎖され、6月より通常業務を再開しました。

ホームページでは、新着情報や事業案内、研修会の参加者募集のお知らせ、イベント報告など随時更新しています。こちらのQRコードからアクセスいただけますので、ぜひご覧ください。

